

西川町国民健康保険第2次データヘルス計画の中間評価

1. 第2次データヘルス計画の概要

(1) 計画の目的

特定健診結果や診療情報明細書(レセプト)の分析に基づき効果的かつ効率的に保健事業を推進するための事業計画です。生活習慣病の発症予防、重症化予防を通し、「健康寿命の延伸」「医療費・介護費の抑制」を図ることを目的としています。

(2) 計画期間

平成30年度から令和5年度までの6年間

(3) 計画の中間評価について

計画期間の中間年である令和2年度に中間評価を行い、本町の現状把握に基づき健康課題を明確にしたうえで、目標達成に向けて重点的に行う取り組みを整理します。また、最終年度となる令和5年度においては、次期計画策定のための評価を行います。

2. 第2次計画策定時の健康課題

【健診受診率、結果等に関すること】

・健診受診率は、平成28年度目標値の59.0%に達していないが、実績は58.9%と目標値に近い数値であり、年々増加傾向である。
 ・健診結果については、BMI(体格指数)25以上の肥満の割合は県内上位であるのに対し、腹囲は県・国と比べて低い傾向である。
 ・血管を傷つける要因では、男女とも血糖、HbA1cは県平均を上回っている。県・国と比較して約1.3倍となっている。

【疾病の罹患、医療費等に関すること】

・疾病については、高額な医療を要するがん、精神疾患による長期入院、高額な医療を要する腎不全の原因となる糖尿病などの生活習慣病の割合が高い。
 ・年々被保険者が減っているのに対し、医療費については、増加傾向にある。

【介護に関すること】

・平均自立期間(要介護2以上)は男女ともに県・国を上回っている。
 ・認定者の有病状況は、心臓病や脳疾患などの循環器系の疾患や糖尿病、骨折などの筋・骨格の疾患が多い。

【質的情報に関すること】

・町外勤務者が多く、夕食の時間が遅い。運動する時間も取れない。

【その他】

・高齢化率が36.5%と高い。

3. 第2次計画策定後の新たな動き

◎「医療制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」
 令和2年4月1日施行

◎ 新型コロナウイルス感染症の流行
 (R2.4.7～5.25:緊急事態宣言1回目)

4. 第2次データヘルス計画の中間評価

目標の進捗状況

【改善したもの】

- ・ 特定健診受診率は、毎年向上している。【最新値(R1) 63.6% (男性61.0% 女性66.3%)】
- ・ 令和元年度特定保健指導実施率は、平成28年度より約8%向上している。
- ・ 平均自立期間(要介護2以上)は、向上。県、国を上回っている。

【改善が進んでいないもの】

- ・ 国保医療費は年々増加傾向にある。【1人当たり医療費の月平均(H28) 26,543円⇒(R1) 30,748円】
- ・ 血管を傷つける要因では、男女ともに空腹時血糖有所見率(100mg/dl以上の者)が県平均より下回っているが、HbA1c有所見者率(5.6%以上の者)については、県平均を上回っている。
- ・ 特定健診結果有所見率では、BMI(体格指数)25以上の肥満の割合が県、国と比べて高い。腹囲については国と比較して低くなっている。
- ・ 特定健診結果有所見率では、糖尿病発症誘因である脂質異常の割合が県より高く、県内1位となっている。
- ・ 特定健診結果有所見率では、メタボ予備群の割合が、県の割合より高い。(R1) 町11.2%(県内4位)
- ・ eGFR異常値(腎機能検査60未満)が県、国と比べて高い。
- ・ 65歳以上の高齢化率が、県・同規模・国と比較して高い。

中間評価

1. 特定健診受診率は年度途中の再周知、未申込者への個人通知を実施したことにより向上。今後は、女性より受診率が低い男性の受診率向上により注視していく。
2. 特定保健指導の主旨を丁寧に伝え声がけたこと、町民の認知度が上がったことから実施率が向上。小規模な町であり、実施数一人が実施率を大きく左右する現状もある。
3. 高齢化率が高いことを受け、引き続き平均自立期間(要介護2以上)の延伸を図るために、保健事業と介護予防の一体的な実施に向け、後期高齢者医療との連携を図っていく。
4. 医療費が年々増加傾向にある要因として、高額な医療を要する悪性新生物、精神疾患による長期入院に続き、筋・骨格、糖尿病の疾病があげられる。疾病別1件あたりの医療費は、1位悪性新生物、2位糖尿病、3位高血圧となっており毎年同じ疾病があがっている。今後も特定健診とがん検診の受診勧奨による疾病の早期発見、早期治療を促していくことに加え、糖尿病等の生活習慣病の発症、重症化予防対策の徹底に取り組んでいく。
5. 肥満や摂取エネルギーの過剰が原因の脂質異常は、糖尿病発症誘因であることを踏まえながら、健康づくり事業に取り組んでいく。HbA1cの数値も注視していく。

5. 今後の方向性(重点的な取組み)

- ◎ 方向性1
- ◎ 方向性2
- ◎ 方向性3

**健康診断受診率の向上対策
 糖尿病の発症・重症化予防対策の徹底
 健康づくり推進体制の確立**

目標の達成に向けて重点的に行う取組み(主なもの)

方向性	重点的な取組み(事業)
1. 健康診断受診率の向上対策	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未申込者と未受診者への受診勧奨(郵送・電話) ・国保資格取得、更新時等の健診受診勧奨 ・健康づくり推進会議作成の受診勧奨ポスターの掲示、活用
2. 糖尿病の発症・重症化予防対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導実施率の向上(個人々の特性やリスクに応じた個別支援実施) ・各種健康づくり事業の実施(病態別予防改善教室(集団・個別)・運動教室・健診結果相談会等) ・精密検査受診勧奨(郵送・電話・訪問)再々勧奨実施 ・糖尿病重症化予防歯周疾患検診の実施と結果活用
3. 健康づくり推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進会議との連携(健康づくり認定事業所での健康相談、健康教室の実施) ・保健事業と介護予防の一体的な実施の検討 ・担当者ミーティングによる情報共有(町民税務課・健康福祉課)

国保被保険者全体の目標値

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	備考
特定健診受診率	目標値	59.0%	60.0%	61.5%	63.0%	65.0%	66.5%	68.0%	R1 県内第1位
	実績	58.9%	59.7%	62.8%	63.6%	—	—	—	66.0%(三川町)
特定保健指導実施率	目標値	50.0%	50.0%	51.5%	53.0%	55.0%	56.5%	58.0%	R1 県内第1位
	実績	46.3%	71.4%	49.1%	54.5%	—	—	—	67.6%(川西町)
空腹時血糖異常率 (血糖異常率:100mg/dl以上)	目標値	—	—	39.0%	37.0%	35.0%	33.0%	31.0%	R1 山形県39.9% 全国23.9%
	実績	40.5%	35.3%	40.2%	38.1%	—	—	—	

令和元年度	西川町	山形県	国
BMI 25以上	8.8%	8.3%	5.0%
脂質異常	3.9%	1.9%	2.7%
メタボ予備群	11.2%	9.4%	11.1%
eGFR異常	22.5%	12.9%	17.9%
腹囲	29.7%	29.3%	33.9%

※BMI25以上は肥満
 ※脂質異常とは、中性脂肪・HDLコレステロールの異常値
 ※eGFR異常値は、将来人工透析移行リスクの参考になる検査値
 ※腹囲(男性85cm、女性90cm以上)

令和元年度	西川町	同規模	山形県	国
高齢化率	40.0%	35.6%	30.8%	26.6%

※65歳以上

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総人口	5,785人	5,645人	5,480人	5,340人
国保被保険者数	1,305人	1,264人	1,199人	1,131人
割合	22.6%	22.4%	21.9%	21.2%
後期高齢者被保険者数	1,438人	1,419人	1,376人	1,361人

※4/1現在

特定健診の年次推移		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診率		58.9%	59.7%	62.8%	63.6%
内訳	男性	56.1%	57.6%	62.3%	61.0%
	女性	61.6%	61.9%	63.2%	66.4%
目標値		59.0%	60.0%	61.5%	63.0%

特定保健指導の年次推移		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①対象者数		54人	63人	57人	66人
	動機づけ支援	39人	43人	41人	50人
	積極的支援	15人	20人	16人	16人
②終了者数		25人	45人	28人	36人
	動機づけ支援	17人	31人	23人	28人
	積極的支援	8人	14人	5人	8人
実施率(②/①)		46.3%	71.4%	49.1%	54.5%
目標値		50.0%	50.0%	51.5%	53.0%

平均自立期間 (要介護2以上)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	西川町	男79.2歳 女84.8歳	男80.4歳 女84.0歳	男80.8歳 女84.5歳	男82.7歳 女84.5歳
	山形県	男78.9歳 女83.5歳	男78.8歳 女83.9歳	男79.0歳 女83.8歳	男79.4歳 女84.0歳
	国	男79.0歳 女83.5歳	男79.3歳 女83.7歳	男79.5歳 女83.8歳	男79.6歳 女84.0歳

※平均自立期間とは、「要介護2以上」を「不健康」と定義して毎年度算出している。平均余命からこの不健康期間を除いたものが、平均自立期間である。
 ※65歳以下は健康とみなす。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国保医療費	26,543円	27,217円	27,861円	30,748円

※1人当たり月平均医療費である。

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
空腹時血糖異常率	西川町	40.5%	35.3%	40.2%	38.1%
	山形県	34.3%	36.2%	39.0%	39.9%

※空腹時血糖異常率とは、空腹時血糖100mg/dl以上

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
HbA1c異常率	西川町	68.0%	65.4%	72.6%	71.2%
	山形県	52.2%	54.0%	55.8%	58.7%

※HbA1c異常率とは、HbA1c5.6%以上